

令和6年度 埼玉県公立学校における  
児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

1 調査の趣旨

児童生徒の問題行動等について、埼玉県公立学校の状況を調査・分析することにより、教育現場における生徒指導上の取組のより一層の充実に資するとともに、その実態把握を行うことにより、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応に、また、不登校児童生徒への適切な支援につなげていくもの

2 上尾市調査結果概要

(1) 暴力行為

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校	243	239	218
中学校	37	82	96
合計	280	321	314

- ・暴力行為の発生件数は、令和5年度と比べて、小学校は減少し、中学校は増加している。
- ・暴力行為がいじめと関連していることが多いため、令和3年度より暴力行為を積極的に認知するように各上尾市立小・中学校長に依頼している。

(2) いじめ

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校	715	826	708
中学校	124	174	211
合計	839	1000	919

- ・いじめの認知件数は、令和5年度と比べて、小学校は減少し、中学校は増加している。
- ・令和3年度よりいじめ認知を積極的に認知するように各上尾市立小・中学校長に依頼している。

(3) 30日以上長期欠席者

ア 小学校

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
病気	47	172	102
経済的理由	0	0	0
不登校	126	123	244
その他	264	100	59
新型コロナウイルス感染回避	10		
合計	447	395	405

イ 中学校

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
病気	67	63	65
経済的理由	0	0	0
不登校	308	332	391
その他	84	55	13
新型コロナウイルス感染回避	6		
合計	465	450	469

- ・30日以上長期欠席者は、令和5年度と比べて、小学校、中学校ともに増加している。
- ・30日以上長期欠席の理由で最も多いのは、小学校、中学校ともに不登校である。